

事故事例

事故者は、初心者であり、インフレータブルボード（サイズ10.8'×33"×6"）にて出艇後に落水した
カヌー用ライフジャケットを着用していたが、誤った装着方法によりボードに上がれず写真のような状態で漂流していたもの
気象：晴、海から陸の風3m/s、波浪30cm、うねり50cm
※写真は再現であり、ボードのサイズは長さ12.6'×27"×6"

ライフジャケットのベルトを締めていないことから
体にフィットせず、ボードに上がる際の障害となっている



ベルトを締めていないと、ライフジャケットが顔面を隠すほど浮きあがってしまうため不安定な姿勢となる



【ワンポイント】
インフレータブルボードはハードボードに比べると厚みがあるので、風を受けやすいのが特徴（風圧面積が大きい）であり、事故事例の条件でも十分風に流される

対策

ライフジャケットの各ベルトを、体にフィットするまで締めること
締める順番は、チャックを締めた後「下(ウエストベルト)から上(肩ベルト)」へ



チャックにズレ防止用のストッパーがあるものは、ストッパーをかける

サイドベルト



ウエストベルト



肩ベルト



ウエストベルトの比較



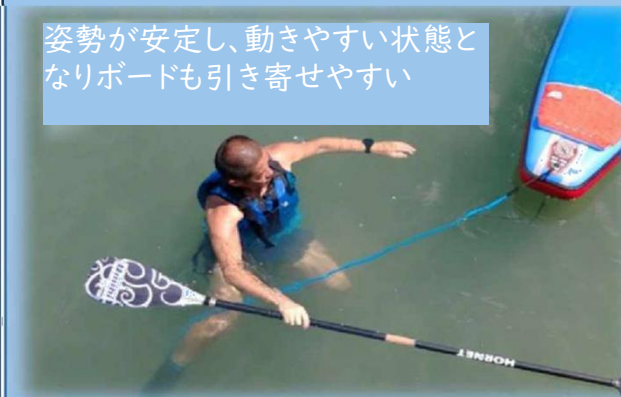
緩い状態



締めた状態

対策後

姿勢が安定し、動きやすい状態となりボードも引き寄せやすい



ライフジャケットが体にフィットしているので動きやすい（事故事例のような障害となっていない）



【ワンポイント】
ボードに乗りやすい場所は、立つ場所と同じく中央付近(ボードの重心)である

スムーズにボードに上がることができる



作成：海上保安庁交通部安全対策課
海上保安庁警備救難部救難課
協力：（一社）日本セーフティパドルリング協会